

# 消費税10%に改定と計量計測器の設定変更対応など 2019年10月1日消費税10%に改定の実際



計測と科学  
毎週日曜発行  
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16  
〒136-0071 TEL 03-5628-7070  
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935  
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack  
NAVI

速くハカル、  
楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

## 2019年10月1日消費税10%に改定で電気、 ガス、水道、ガソリン計量器、ハカリ等で準備が進む

### ハカリ大手企業は販売代理店と共同して昼夜通しの作業につづく

消費税が2019年10月1日に10%に改定されるための準備が商取引分野で急がれている。2017年4月には10%に増税される予定が、2019年10月まで先送りになっていたが自公政権が参議院選挙で現有議席を確保したことから日程通りに実施される。

計量器関係の消費税対応は電気、ガス、水道の生活に直結する分野とガソリン計量器や燃料油メーター、タクシメーターまた料金計算がともなうハカリなど準備が急がれる。電気、ガス、水道、ガソリン計量器は供給会社や販売店の会計コンピュータの消費税額の設定変更をすること

に対応。車載のガソリン計量器や燃料油メーターは持ち運び式の計算機の税率変更をする。タクシメーターの税率設定

はサービス会社への持ち込みによってなされる。料金計算がともなうハカリの消費税変更作業はメーカー系列のサービス会社が一か所に税率変更作業をする。百貨店、スーパーマーケットには料金計算式のハカリが多数設備されているために税率改定作業は大仕事である。精肉店やミニスーパーなどの料金計算ハカリの税率変更作業は2019年10月1日新税率対応で遅れが懸念される。

ハカリ大手企業広報室の説明である。これまで供給し稼働している料金計算方式のハカリはプログラムの変更で対応して

いる。ロムの交換作業による対応も含まれる。各地にある営業所のサービスマンが顧客の現場に向いて変更作業をしてい

る。対面式料金ハカリの税率変更作業は、顧客の営業が終わったあとの時間に変更を実施している。メーカー直販営業拠点と全国販売代理店とで共同して変更作業をして

いる。スーパーマーケットのバックヤードで使用されている計量値付け機の税率変更作業は、商品マスタに税率が登録できるようにになっている。上位システムもしくは計量機自体でのマスタ登録作業をする。対面式

料金ばかりおよび計量値付け機の税率変更作業は、計量法における特定計量器の修理・改造に当たらないので再検定

を求められない。変更作業は有償でなされる。出張費5000円十作業費3000円/台が基本料金である。変更台数や作業内容により料金は変わることもある。税率変更の設定作業は問題なく進行している。また対面式料金ハカリ各種は、軽減税率補助制度対象商品となっている。

大手計量器メーカー代理店は現在の状況を次のように説明する。消費税税率変更にもなうハカリの消費税変更設定の作業に懸命に取り組んでいる。対象となっているハカリはスーパーマーケットなどのバックヤードで

### 今週の主な記事

- ① 消費税10%に改定と設定変更対応など
- ② 企業業績2020年3月期第1四半期(3) 産経研
- ③ 寄稿(高徳芳志・矢野耕也)
- ④ 寄稿(松本榮壽・小宮勤)
- ⑤ 寄稿(吉田清・北本舜徳)・JQA
- ⑥ 計量検定見直しについて(4)(令和元年6月版)
- ⑦ 東京電力が福島第一原子力発電所の廃炉を決定(4)
- ⑧ 私と上高地(2)
- ⑨ 消費税10%に改定と計量計測器
- ⑩ 社説・消費税率10%に改定と計量計測器
- ⑪ 社説・鳥津製作所ミット3販売提携
- ⑫ 面

**2019年10月1日(火)から郵便料金などが変わります。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを変更させていただきます。  
なお、変更後の料金に対応した額面の郵便切手、郵便はがき、レターパックなどを2019年8月20日(火)に発売いたします。

定形郵便物	通常はがき
(旧料金) 82円 → (新料金) 84円	(旧料金) 62円 → (新料金) 63円

料金改定のお知らせ (日本郵便)

**TANITA デジタルスケール TL-280**

見やすいバックライト付大型表示

¥33,000(税抜)

使われている計量値付け機だ。内容は計量法とは関係ない値付け機のプログラムの部分のプログラム変更設定作業である。作業時間帯は、顧客の営業時間外なので深夜から夜明けになる。費用は一台当たり数万円のことだ。2019年10月1日までに対応できるのか、戦々恐々である。

料金計量ハカリの使用業者である百貨店の対応体は次のように説明する。バックヤードの包装値付け器は、メーカーのサービスマンが来て、6桁のメーターキーを打ち込んで、消費税の変更設定を呼びだし新税率を入れる。営業時間内の変更にかかる料金は2万3000円ほどである。営業時間外は二割五分増しである。消費税計算機能の変更は「修理」にはあたらないと解釈されている。日本計量新報前号改定時の社説には税率変更後3カ月間は封印の破棄をともなわない

変更と同じ扱いにする。などが決められていると書いている。対面式の料金計算ハカリに関しては、デバ地下では持ち帰りのみなので混乱はない。2種類設定しなくてはならないときはどうするかというと、いまはPOSなのでレジで料金設定のみ設定変更することで対応できる。はかりだけである場合もアイテムを8%用、10%用と増やせば対処できる。

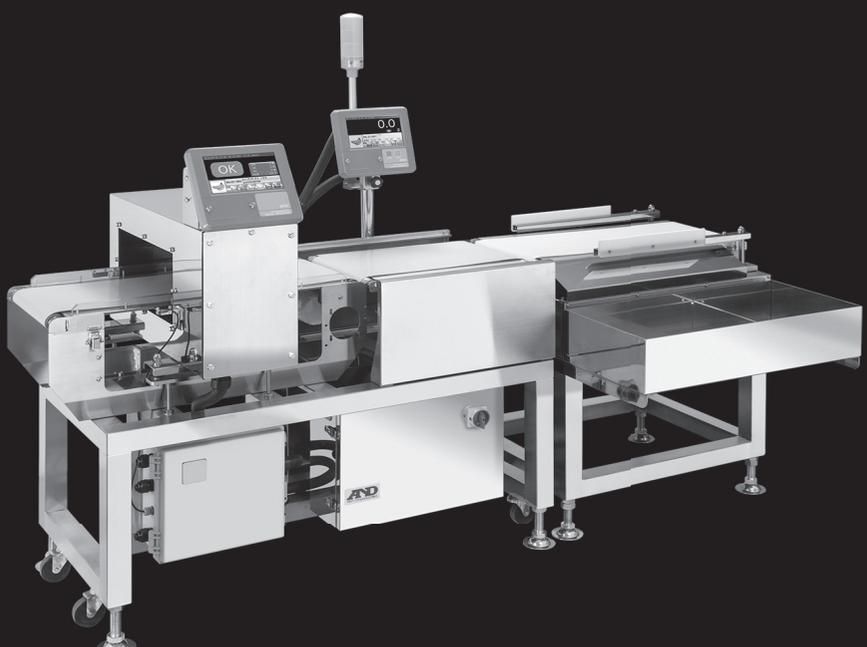
いくつかのハカリ販売会社に状況を確かめた。東京都北東部にあるハカリ販売とメンテナンス企業社長の説明である。工場向けのはかりばかりなので、消費税値上げに關係した動きは全然ない。東京都東部地区にあるトラックスケール、大型ハカリ、ハカリ販売とメンテナンス企業社長の説明である。消費税値上げに關係する料金はかりなどの取り扱いはないので、特に動きはない。計量器に關係しない装置で、消費税値上げにともなうソフト設定やプログラムの設定作業が少しある。

(10面につづく)

3256・3257号を合併号とし、9月22日付で発行します。

# 新しいコンビ機の登場です。

新しい金属検出機、ウェイトチェッカをお届けします。



二つの新技术を一台の中に省スペースで実現

**金属検出機付  
ウェイトチェッカ**

WCMシリーズ

AND 株式会社 エー・アンド・デイ

本社/〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 Tel.03(5391)6128(直)

札幌011-251-2753/仙台022-211-8051/宇都宮028-610-0377/東京北048-592-3111

東京南045-476-5231/静岡054-286-2880/名古屋052-726-8760/大阪06-7668-3900

広島082-233-0611/福岡092-441-6715 <http://www.aandd.co.jp>